

平成28年度

政策研究成果発表会

彩の国さいたま人づくり広域連合では、県・市町村・企業・NPO及び大学等の協働による「産民学官・政策課題共同研究」を実施しています。様々な主体が集まり、埼玉の未来を共に考えています。

この度、「産民学官・政策課題共同研究」の研究成果や、県内外で活動している政策研究チームの取組や成果を広く周知することを目的に「平成28年度政策研究成果発表会」を開催しました。

その様子を以下のとおりお伝えします。多数の皆さまのご来場、誠にありがとうございました。

1 日時：平成29年2月10日（金） 10：00～16：30

2 会場：埼玉県県民健康センター 2階 大ホール

3 プログラム、発表者

(1) 県内自治体・神奈川県のパ策研究成果発表

①「災害時におけるトイレのあり方について」

発表者：新座市 政策研究チーム

内 容：災害時においても安心・安全なトイレ環境のための政策を提案



② 「“ねこ” との共生をめざして」

発表者：久喜市 政策研究チーム「ねこロール」

内 容：野良猫を減らし、猫との共生を実現するための「地域猫活動」の推進方策について提案



③ 「4市発！！“農地リフォーム”＋“イメージアップ”で耕作放棄地減らし隊」

発表者：埼玉県西部地域まちづくり協議会 政策研究グループ
(所沢市、飯能市、狭山市、入間市)

内 容：①新規就農者への支援、②新たな利活用への基盤づくりを柱とした、広域ネットワークによる耕作放棄地解消の仕組みづくりについて提案



④ 「性的マイノリティ支援にかかる課題の整理」

発表者：神奈川県政策研究・大学連携センター 中村 佐知子 氏

内 容：性を含めた多様性や人権を尊重する社会の実現を目指すため、学校や会社など各生活場面における性的マイノリティ支援の課題と対応策や、自治体等による対応策等を整理



(2) 産民学官・政策課題共同研究

① 『『サステイナブルタウン』』 を目指して

—超高齢社会の包括的タウンマネジメント—

発表者：「超高齢社会の包括的タウンマネジメント」研究チーム

内 容：県内の5つのニュータウンをフィールドに、超高齢社会への対応を「都市計画・建築」「福祉」「コミュニティ」等の横断的な視点から研究。各地での「対話の場創出実験」等の成果を踏まえ、ニュータウンを「サステイナブルタウン」に更新するための方策について提言。

(詳細は「発表資料」をご覧ください。)



【発表風景】



【研究会メンバー】

② 「多様な働き方『埼玉スタイル』」の推進

発表者：「多様な働き方『埼玉スタイル』の推進」研究チーム

内 容：「働きたい」「働きやすい」「働いてほしい」を叶える多様な働き方「埼玉スタイル」について、「若者」「子育て世代」「障害者」「高齢者」をターゲットに研究。各ターゲットに応じた政策を提案するとともに、「埼玉スタイル」が目指す埼玉県像として「ソーシャルインクルージョンの実現」を提示。

(詳細は「発表資料」をご覧ください。)



【発表風景】



【研究会メンバー】

4 参加者数：285人 113団体

【内訳】

・行政	182人	38団体
・企業	53人	34団体
・NPO等	14人	13団体
・大学等	14人	10団体
・その他	22人	18団体



◆たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました